

日 時：2008年8月2日（土）9：30～11：30

場 所：薬業年金会館

出席者：横山守雄ガバナー、大谷透ガバナーエレクト、  
松本新太郎ガバナーノミニ、若林紀男パストガバナー、  
松本龍一ガバナー補佐、樋上重夫ガバナー補佐、  
矢野巖ガバナー補佐、佐々木宏ガバナー補佐  
地区財団法人道的補助金委員会 辻川功一委員長  
地区国際奉仕・WCS委員会 青山快玄委員長及び委員  
2008～2009年度地区内クラブ 国際奉仕・WCS委員長

地区国際奉仕・WCS委員会  
大阪北梅田RC

委員長 青山 快玄

当日は、地区内86クラブの各国際奉仕・WCS委員長にご参加いただき開催致しました。青山委員長から出席者の紹介があり、次に横山Gよりご挨拶をいただきました。特にRI李東建会長方針でもある「子供たちに光があたる」ということを踏まえて国際奉仕・WCS活動に取り組んでいただきたいという旨を示されました。

委員長からは、今年度MGプロジェクト実施の際には、DDF・DSGを少しでも多く利用していただきたい。そして、海外クラブとの姉妹提携には当委員会が支援致します。また、地区関連の過去実施されたプロジェクトの検証をして各国の現状把握と解析をします。それらの情報を各クラブが共有することにより次年度以降のWCSプロジェクト立案の時に活かしていただきたいと思えます、との活動方針の説明がありました。

引き続き、地区財団法人道的補助金委員会辻川委員長よりWCS事業実施の時MG・DDF・DSGの基本的な内容から申請書式までを詳細にご説明いただきました。

休憩の後、ケーススタディの形で2件紹介されました。

1件目は豊中RCより、昨年ネパールにおいて実施されたコミュニティー健康センタ

ーでの医療設備の整備に関するWCSプロジェクトの紹介がありました。

次に、2001年度からタイで継続して実施しているMG事業の中で今年度すでに計画進行中のHIVで親を亡くした子供たちに奨学金の援助をするための調査とその仕方を報告されました。特にプロジェクトを長く持続されている理由として計画立案の時必ず事前訪問をする事とその時パートナークラブからの情報収集が極めて重要であることが報告されました。

2件目は守口イブニングRCから昨年度、姉妹クラブの締結からWCS事業までをわずか1年で実施された極めて稀な例を発表いただきました。

未だ姉妹提携クラブを持っていない地区内のクラブは多大な影響を受け、啓発されたことと思えます。

最後に基金収支報告の後、若林PGから所感をいただき大谷GEの閉会ご挨拶にて会議を終了いたしました。

